

奥州市議会運営委員会 会議録

【日 時】令和8年2月9日（月） 9:58～10:09

【場 所】奥州市役所7階 第1委員会室

【出席委員】小野優委員長 千葉敦副委員長 宮戸直美委員 千葉和彦委員 小野寺満委員

千葉康弘委員 廣野富男委員 阿部加代子委員 今野裕文委員

※議長、副議長の出席はなし

【欠席委員】高橋浩委員

【事務局】鈴木事務局長 千田事務局次長 佐藤事務局副主幹

~~~~~

## 【次 第】

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議事項

(1) 次期議会運営委員会への申し送り事項について

(2) その他

4 その他

次回予定 2月10日（火） 午前9時00分～ 市役所7階 委員会室

5 閉会

~~~~~

【概 要】

1 開会

○副委員長（千葉敦君） ただいまより議会運営委員会を開会します。委員長の挨拶の後、委員長が取り進めますのでよろしくお願いします。

2 委員長挨拶

○委員長（小野優君） おはようございます。道路状況も悪いところですけれどもお集まりいただきありがとうございます。

取組事項の部分では、今日が最後になると思っております。よろしくお願いします。

※高橋浩委員より欠席の連絡あり。

3 協議事項

(1) 次期議会運営委員会への申し送り事項について

○委員長（小野優君） 協議事項に入ります。

(1)、次期議会運営委員会への申し送り事項について、事務局説明をお願いします。

佐藤副主幹。

○佐藤副主幹 資料に基づき説明させていただきます。

本日の議会運営委員会のフォルダに資料が入っております。

まず最初に、アの部分になります。

資料の読み上げによりまして、説明とさせていただきます。

次期議会運営委員会への申送り事項について。

①、奥州市議会基本条例等、関連例規（ガイドライン等含む）に関する研修の実施。

②、奥州市議会基本条例に基づく行動計画の策定。

③、奥州市議会政治倫理条例に基づく早期の研修会の実施。

④、奥州市議会基本条例検証時の第三者評価指摘事項。

青森大学社会学部教授佐藤淳氏による指摘事項。

議員間討議の推進、生成AI並びにDXの活用、議員研修及びルール整備、議会の組織改革、市民との関係強化、政策形成並びに提言機能の強化。

⑤、奥州市議会基本条例の検証手法の検証。

⑥、奥州市議会基本条例の検証と見直し。

続きまして、イの部分になります。

議員間討議（12月9日分）引継書。

1、引継書作成の趣旨。

本引継書は、令和7年12月9日に実施した議員間討議において議論された、予算及び決算審査における分科会方式の導入、常任委員会の権能の充実、委員会代表質問の導入の3事項について、議論の経過、共通認識、主要な論点及び今期における整理状況を記録し、改選後の次期議会において、これまでの検討を踏まえた議論が行われるよう引き継ぐことを目的として作成するものである。

2、検討の前提。

本件は、制度改革の是非を即断するものではなく、議会機能の向上を目的とした中長期的検討課題として議員間討議を行ったものである。

改選により議会構成が大きく変わる可能性があることから、今期において結論を出すことは行わず、論点整理にとどめることを基本方針とした。

3、テーマ別検討経過及び整理内容。

（1）、予算及び決算審査における分科会方式の導入。

共通認識。

予算・決算審査の専門性を高める必要性については、多くの議員が認識している。一方で、全面的な分科会方式の導入については慎重な意見が多い。

主な論点。

決算審査に限定した導入、またはテーマ・分野を絞った部分的導入の可否。

少数会派や非構成員議員の発言機会をどのように確保するか。

分科会審査と全体的視点の確保の両立。

事務局及び当局の人的体制、資料提出時期の課題。

同時進行による傍聴機会への影響

今期の整理。

次期議会において、限定的・試行的な導入の可能性を検討する余地がある。

（2）、常任委員会の権能の充実。

共通認識。

常任委員会の専門性を高めることは、政策提言機能の充実につながるとの認識が概ね共有された。

主な論点。

議案の「原則付託」と「必要に応じた付託」の考え方。

補正予算の付託の在り方。

委員及び事務局の負担増加への対応。

委員会ごとの審査内容の偏り。

全員協議会と常任委員会の役割分担。

今期の整理。

全面的な制度変更ではなく、段階的・試行的な付託強化を検討する方向性が示された。

制度化に当たっては、会期日程や体制整備が前提条件となる。

(3)、委員会代表質問の導入。

共通認識。

政策提言のフォローアップを行う必要性については共通理解がある。

主な論点。

一般質問との役割分担・重複の問題。

委員会内での意見集約の可否。

会期及び質問時間の確保。

所管事務調査との関係整理。

今期の整理。

委員会代表質問の制度化については慎重意見が多数を占めた。

次期議会において政策提言及び所管事務調査の成熟度を踏まえて再検討する課題とする。

4、次期議会への引継事項。

次期議会においては、以下の点を踏まえ検討を進めることが望まれる。

分科会方式の限定的導入（決算・テーマ別）の可能性。

常任委員会付託の優先順位付け及び試行的実施。

政策提言サイクルと質問制度の関係整理。

5、結び。

本引継書は、特定の結論を拘束するものではなく、今期議会における議論の蓄積を次期議会に引き継ぐための記録として作成するものである。

次第に戻りまして、ウの部分でございます。

先ほどの2つの資料のほか、議会運営委員会における検討事項として残っている事項について、2つあるということで示しております。

表決における採決システムの利用について、令和7年7月22日の議会運営委員会で採決システムの利用することが決まったのみである。実施内容の確定や、予算措置に向けた検討が必要である。

予算書の電子化、会議録の冊子配布の廃止について、令和7年11月25日の議会運営委員会で議論を継続することを確認している。実施時期、実施内容について、経過を確認しながら結論付け

ていく必要がある。

以上が次期議会運営委員会への申し送り事項として記述するものでございます。

よろしくお願ひいたします。

○委員長（小野優君） 説明ありがとうございました。

質問等ありますでしょうか。

＜「なし」との声あり＞

では、次期議会運営委員会の申し送り事項については、このように確定させていただきます。

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

## （2）その他 なし

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

4 その他

○委員長（小野優君） 4のその他の方に入ります。事務局、説明をお願いします。

佐藤副主幹。

○佐藤副主幹 資料記述のとおり次回予定につきましては、明日午前9時からこの場所において行います。

議題につきましては、議事日程第8号等について、所管事務調査の閉会中における継続調査の申し出について、その他となっております。参考につきましてお願いいたします。

※ 委員からのその他はなし。

~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~○~~~~~

## 5 閉会

○副委員長（千葉敦君） 慎重な審議ありがとうございました。これをもちまして議会運営委員会を閉会いたします。